

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 地域における障害者の口腔ケア支援による健康な街づくり</p>
<p>2. 申請者名： 社) 所沢市歯科医師会会長 島田 和浩</p>
<p>3. 実施組織： 社) 所沢市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>所沢市は日本航空発祥の地とされ、平成 23 年にその 100 周年を迎えた。人と街が健康で発展しつづけるためには、口腔の健康がかかせない。所沢市歯科医師会は、すべての市民に対する歯科保健医療を充実させ、地域全体で口腔ケアを推進する健康な街づくりに寄与することを目指している。</p> <p>障害者の口からの健康づくりのため、障害者に関わる方々が口腔ケアについて理解を深め、障害者の口腔ケアの介助や支え合いが地域全体でできるように継続的支援ができる体制づくりを行った。</p> <p>地域住民主体で障害者の口腔ケアに対して支援を行うことは、地域に根ざした口からの健康づくりの基盤になると思われる。地域の障害者の口腔ケアを推進することで、地域全体の歯科保健の向上を目的に本事業を行った。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>(1) 障害者の口腔ケア推進に関する検討</p> <p>障害者施設代表（協力 所沢市地域自立支援協議会）、歯科衛生士、歯科医師会会員で障害者口腔ケア推進委員会を組織し、障害者の口腔ケア推進を図るための方策の検討を行った。</p> <p>(2) 口腔ケア研修会の開催（3回）</p> <p>所沢市内の障害者施設職員、特別支援学校養護教諭等を対象に口腔ケア研修会を開催し、障害者の口腔ケアが口と全身の健康の保持増進に重要であることの理解を含め、施設や学校で行う口腔ケアの実際に対して支援を行った。研修会は、歯科医師による講話（口腔ケアの基礎知識等）の他、歯科衛生士による口腔ケア実習（器質的口腔ケア）を主体にし、より口腔ケア実践に役立つ内容にした。</p>
<p>6. 実施後の評価：</p> <p>口腔ケア研修会の開催を通して、その参加者や施設・特別支援学校の口腔ケアに対する理解やその取り組みは変わったと言える。また、地元の身近な歯科衛生士や歯科医師が運営したことが高評価を得た。今後、地域を通じた支え合いにつながっていくと思われる。</p> <p>障害者の口腔ケアを支援する体制ができたので、この支援を継続し、所沢市内の障害者にさらに拡げていくことが望まれている。障害者に対する口腔ケアの推進を通して、すべての所沢市民の口腔ケアが推進され、歯と口の健康づくりによる健全な街づくりに寄与することが目的である。住民参加型の、住民主体の口腔ケアの取り組みが、歯科保健の向上・全身の健康につながることで 8020 達成型社会の実現に向けた道筋のひとつであると思われる。</p>